

プログラム 12月1日(土)

12:15 受付開始

12:50 開会のことば

【調査速報 13:00-15:40】

①13:00-13:20

「ワリ期のインタラクションについて」

渡部森哉(南山大学)

②13:20-13:40

「コトシュ遺跡第5次発掘調査ーミトの神殿とチャビンの神殿ー」

鶴見英成(東京大学)

セサル・サラ(ペルー・カトリカ大学)

—休憩(13:40—13:50)—

③13:50-14:10

「パコパンパ遺跡における土器以外の人工遺物の時期変遷」

荒田 恵(国立民族学博物館)

関 雄二(国立民族学博物館)

フアン・パブロ・ビジャヌエバ(ペルー国立サン・マルコス大学)

ディアナ・アレマン(ペルー国立サン・マルコス大学)

マウロ・オルドーニェス(ペルー国立サン・マルコス大学)

ダニエル・モラーレス(ペルー国立サン・マルコス大学)

④14:10-14:30

「カンパナユック・ルミにおける円形半地下式広場の発見とその意義」

松本雄一(山形大学)

ユリ・カベロ(ペルー国立サン・マルコス大学)

—休憩(14:30—14:40)—

⑤14:40-15:00

「メキシコ国民によるメキシコ先スペイン期遺跡の捉え方と活用の変遷」

渡辺裕木(国立民族学博物館)

⑥15:00-15:20

「メキシコ中央高原における国家形成と環境変動」

福原弘識(埼玉大学)

原口強(大阪市立大学)
大森貴之(東京大学)
米延仁志(鳴門教育大学)

⑦15:20-15:40

「チャルチュアパ遺跡エル・トラピチェ地区出土 7 バクトウンの日付のある石碑」

伊藤伸幸(名古屋大学)

—休憩(15:40—15:50)—

【研究発表 15:50-16:50】

⑧15:50-16:20

「ニカラグア太平洋岸の後古典期—マナグア湖畔の発掘調査から」

長谷川悦夫(埼玉大学)

⑨16:20-16:50

「マヤ文明の交換、ものづくり、宗教儀礼と戦争：グアテマラ、セイバル遺跡の石器の通時的研究」

青山和夫(茨木大学)

—休憩(16:50—17:00)—

【総会 17:00-18:00】

※大会二日目に関しては、一部研究機関等に郵送されたポスター・チラシ掲載プログラムからの変更があります。以下のプログラムは変更後のものです。

プログラム 12月2日(日)※

09:00 受付開始

【研究発表 09:30-10:00】

①09:30-10:00

「Feline Man/Camelid Woman 再考」

佐藤吉文(国立民族学博物館)

—休憩(10:00-10:05)—

【ポスターセッション 10:05-10:25】

③10:05-10:25

「「鳴るボトル」プロジェクト:古代アンデスの笛付き土器の X 線 CT 分析、レプリカ製作と実験」

真世土マウ(岡山県立大学)

鶴見英成(東京大学)

森下矢須之(BIZEN 中南米美術館)

—休憩(10:25-10:30)—

【大会実行委員企画 10:30-11:00】

④10:30-11:00

「専修大学図書館主催の企画展「メキシコ 絵文書に見る古代文明の歴史」」

(大会実行委員企画)

—休憩(11:00-11:05)—

【研究発表 11:05-12:05】

⑤11:05-11:35

「本当に気候変動が中期シカン政体を滅ぼしたのか?～堆積学的分析による従来説の検討」

松本剛(山形大学)

ガブリエラ・デ・ロス・リオス(ペルー文化省)

野口真利江(株式会社パレオ・ラボ)

門叶冬樹(山形大学)

⑥11:35-12:05

「古代アメリカ文明の継承者は誰か：博物館展示から考える」

鈴木紀 (国立民族学博物館)

12:05 閉会のことば